

各構成機関の減災に向けた取組み

山形市
上山市
天童市
山辺町
西川町
高畠町
白鷹町
山形県

米沢市
村山市
東根市
中山町
朝日町
川西町
飯豊町
山形河川国道事務所

寒河江市
長井市
南陽市
河北町
大江町
小国町

平成30年7月3日

H29迄の取組状況とH30の取組予定【山形市】

H29迄の取組状況（山形市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

⇒**防災ラジオ配備を実施、防災情報メールマガジンの配信(H29)**

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成

⇒**要配慮者利用施設の避難計画作成**

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練を実施**

- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進⇒出前講座による啓発、

- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施(H29)**

H30 山形市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布

⇒**防災ラジオの配備を実施、屋外拡声装置の設置、防災情報メールマガジンの配信(H30)**

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒**L2対応版策定予定(H30)**

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成

⇒**水害警戒時体制マニュアルを活用した情報伝達訓練(6/7)**

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施

- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発。

モデル校(大郷小)に防災教育支援の学習プログラムを作成。浸水想定区域の見直しの周知(5~7月)

- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施(6/24)**

山形市 水防訓練の実施

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

この訓練は、水防法第32条の2の規定に基づき、水害発生の有事に備えるため、水防活動を総合的に訓練し、各機関の志気の高揚と技術の向上及び体制の強化を図ると共に、公共の安全を保持することを目的として実施しているものです。

1. 開催日時・会場

平成29年6月25日(日)午前10時～11時30分
山形市大字黒沢地内 須川 福田橋上流左岸
(西側)河川敷で実施しました。

2. 実施内容

- ①気象情報の受信伝達訓練
- ②消防防災ヘリによる情報収集訓練
- ③情報収集訓練 ④広報訓練
- ⑤資器材調達訓練 ⑥水防工法訓練

参加人数 災害対策本部員 関係各課
消防本部 消防団 航空隊等
約390名

3. 状況写真



消防団員による月の輪工法訓練

※今年度は、平成30年6月24日(日)午前10時～11時30分 山形市大字下反田地内 須川 反田橋上流左岸(西側)河川敷で実施します。

山形市 洪水浸水想定区域見直しの周知

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

国と県から公表された洪水浸水想定区域(想定最大規模)を住民に周知するため、山形市では、平成30年5月より洪水浸水想定区域該当地区を対象に、説明会や周知チラシの回覧等を行っています。

1. 周知方法

○説明会による周知

市内30地区の内、浸水が想定される21地区の自治推進委員や町内会長を対象に実施

○周知チラシの回覧

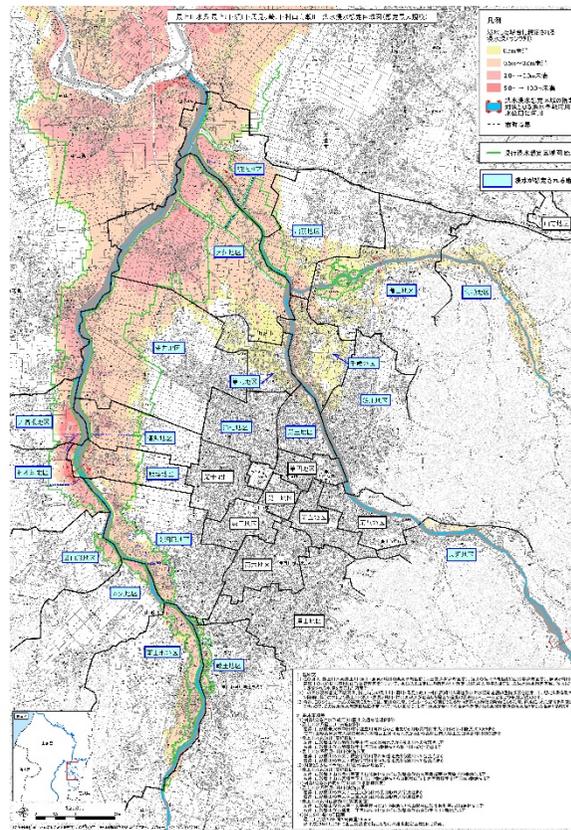
洪水浸水想定区域図にわかりやすい説明文(周知チラシ)を添付し、該当地区へ回覧

○「広報やまがた」7月1日号や山形市ホームページに掲載予定

2. 説明会の様子



3. 浸水想定区域図



国と県から公表された洪水浸水想定区域を重ね合わせた洪水浸水想定区域図

4. 周知チラシ

洪水浸水想定区域が見直されました！

回覧

○見直しについて

近年、想定を超える降雨や局地的豪雨により全国各地で水害が多発しているに伴い、平成27年7月に水防法が改正されました。

これにより、国と山形県では、対象となる管理河川の須川、馬見ヶ崎川、村山高瀬川の洪水浸水想定区域の見直しを行い、公表しました。また、立谷川については、現在、山形県が見直し中です。

貴地区周辺の浸水想定範囲及び浸水深に変更がありますので、有事に備えるため、ご確認下さるようお願いいたします。(該当するコミュニティセンターにも掲示してあります)

～～最近の水害～～
・平成27年9月 関東・東北豪雨
・平成28年8月 北海道・東北豪雨
・平成29年7月 九州北部豪雨

洪水浸水想定区域図は、国と県のホームページから確認できるよ！



○主な変更点

1. 降雨量を、想定し得る最大規模の降雨量に変更
現在) 30年～100年に1回程度発生する降雨量を設定
変更) 1,000年に1回程度発生する降雨量を設定
2. 浸水深をわかりやすく表示
例) 0.5m未満 (床下浸水)
0.5m～3.0m未満 (家屋1階浸水)
3.0m～5.0m未満 (家屋2階浸水)

○山形市の今後の予定

1. 国・県による見直しについて、「市ホームページ」、「広報やまがた」に掲載し、周知します。
2. 避難場所等の見直しや河川以外での地域ごとの水上がり箇所の調査を行い、現行の山形市洪水ハザードマップを2カ年かけて改訂します。

平成32年に、山形市洪水ハザードマップ改訂版を市内全世帯へ配布する予定です。

担当 山形市まちづくり推進部
河川道路整備課 河川整備係
TEL 023-641-1212 (内 507)

あなたの家を
確認してね！



親しみやすいキャラクター
を用いた周知チラシ

課内で独自に作成した水害警戒時体制マニュアルを活用し、洪水災害対応時に実施する危険箇所の現場確認、及び、水防本部(仮想)との情報伝達訓練を行った。

1. 水害警戒時体制マニュアル(抜粋)

2. 市役所参集後の行動について

- ①市役所に来たら、必ず**打刻**をしてから職場へ。(登庁時間をメモしておく)
- ②一番初めに登庁した職員は**防災対策課(内線 383)へ連絡**を入れる。
(例:河川道路整備課 石沢 5時50分 警戒配備で登庁完了しました)
- ③CCTV(河川画像受信システム)、テレビ(NHK 気象情報)、パソコン(インターネット専用、河川整備・管理係、本人のPC)の電源をつける。
- ④FAX が来てないか確認をする。(2人以上参集していた場合→蔵王ダム放流に関するFAX は2部コピーして防災対策課と公園緑地課へ)
- ⑤会議テーブルに以下のものを用意する。※別添位置図参照
(**電気機器は、電池及び充電を確認すること。**)

- ・ホワイトボード・河川網図(1冊)・カメラ(3台)・防災無線(2台)
- ・水防警戒体制現場点検リスト(3冊)・災害対策用スマートフォン(2台)
- ・懐中電灯(3個)・ハザードマップ(①～⑤の図面を用意)
- ・ライフジャケット(箱ごとカウンターへ)

- ⑥河川担当職員が来るまで、経過報告をメモしておく。(電話・FAX・水害対応等があった場合)
- ⑦河川担当職員は、上記の業務のほかに、気象庁HP・山形県河川砂防情報システムを使い雨雲の様子や水位を確認する。
河川担当職員以外は、電話対応などを行い、その他の指示には臨機応変に対応してください。

↑誰でも、的確に、対処できるよう
参集後の行動について明記

使用する物がどこにあるか明記→

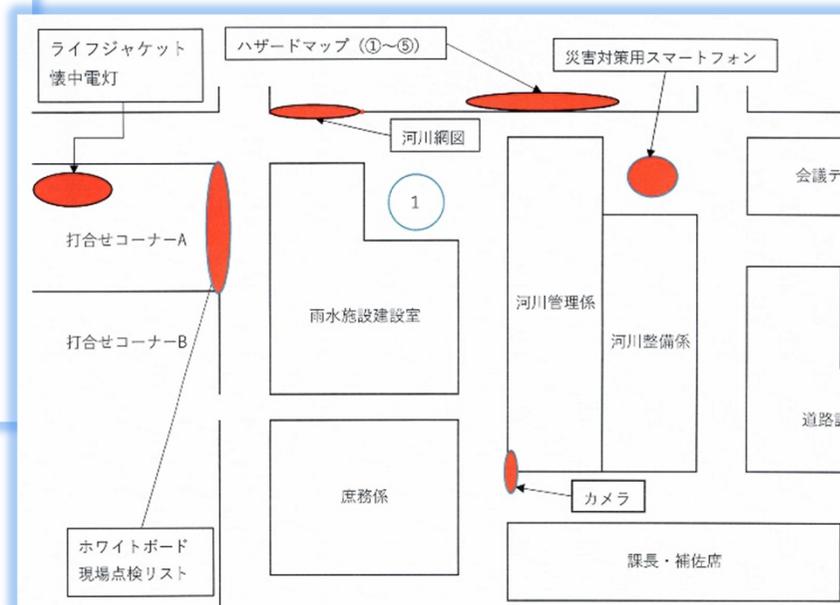
2. 情報伝達訓練状況写真(平成30年6月7日実施)



平成25,26年に被害があった本沢川の危険箇所を確認



河川状況報告書(ラミネート加工)をメールで本部へ送信



■この事業は、災害が想定される区域に居住し、携帯電話・スマートフォンで「緊急速報メール」を受け取れない方のうち、希望する世帯を対象として緊急告知ラジオ(防災ラジオ)の配付を行うものです。(平成28年度より実施)

1. 防災ラジオの概要

エフエム山形(FM80.4MHz)のラジオ放送で特殊な信号を流した際、自動で電源が入ったり、他局(AMラジオ放送や他のFM局のラジオ放送)の放送を聴いている場合は自動で放送局が切り替わり、避難情報・緊急情報を聴くことのできるラジオです。

2. 実施内容

これまで、平成28年度は融雪型火山泥流避難区域、平成29年度は土砂災害警戒区域を対象に配付を行いました。

平成30年度は、浸水想定区域を対象として、現在配付に向けて準備を進めています。

3. 写真



Comfis方式と呼ばれる自動起動システムを採用
(サイズ:幅17cm、高さ12.5cm、奥行き5.8cm)

※防災ラジオの配付とあわせて、災害が想定される区域に所在する小学校・中学校へ避難情報・緊急情報を流すため、屋外拡声装置(スピーカー)の設置も行っています。

■ 山形市では、平成23年12月1日より防災情報メールマガジンを配信しています。緊急速報メールを受け取れない方でも、メールアドレスの登録をすれば緊急速報メールと同程度の情報が受け取れます。

1. 配信内容

※配信は不定期に行っています。

避難情報	<ul style="list-style-type: none">・避難情報(避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示(緊急))及びその解除に関する情報・避難所の開設・閉鎖
災害情報	<ul style="list-style-type: none">・大雨等による市道の通行止め及びその解除に関する情報・水道の断水や復旧に関する情報・注意喚起(洪水警報や土砂災害警戒情報等の発令時)
防災情報	<ul style="list-style-type: none">・災害に対する日頃からの心構え・総合防災訓練の案内など
その他	<ul style="list-style-type: none">・クマ出没情報・PM2.5注意喚起情報

2. 登録方法

山形市公式ホームページ内「山形市メールマガジン登録フォーム」、または二次元コードを活用して登録を行うことができます。

「山形市メールマガジン登録フォーム」二次元コード→



H29迄の取組状況とH30の取組予定【米沢市】

H29迄の取組状況（米沢市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配備を実施（H29）**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練を実施（H29）**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施（H29）**

H30 米沢市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配備を検討**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練を予定（10/7）**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒継続実施

実施内容 緊急告知ラジオ（防災ラジオ）の配布

○目的

特に災害リスクの高い区域に居住している世帯に対し、災害情報を確実に伝達するための手段として、緊急告知ラジオを無償で配布することで、住民のすみやかな避難に繋げる。

○防災ラジオの機能

平常時はFM 3局（エフエムNCV、エフエム山形、NHK-FM）

AM 3局（山形放送、NHK第一、NHK第二）を聞くことができる一般的ラジオ

緊急時 市で指定する緊急度の高い情報を受信した際に、ラジオの電源が待機状態になっていれば、スイッチが入っていなくても、国からのJ-アラートによって送信されたデータ（音声データ含む）をDTM信号（緊急告知ラジオを自動起動させるための信号）を付与して地元のFMラジオ局である（NCV-FM）に送信することで、自動的にラジオの電源が入り、最大音量で緊急放送が流れる。

○対象となる緊急情報

- ①国民保護（武力攻撃、ミサイルなど）
- ②緊急地震速報（市内震度4以上）
- ③気象情報（特別警報、噴火警報、土砂災害警戒情報など）
- ④緊急避難に関する情報（避難準備・高齢者等避難開始情報、避難勧告、避難指示など）

○配布状況

平成29年4月～5月	土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）居住者	18台	} 計781台 配布
5月～7月	河川浸水想定区域居住者	668台	
平成30年3月	河川浸水想定区域の事業所、企業	95台	

○今後の取組み

配布したラジオの有効性を検証し、課題の抽出を行う。その後配布対象以外の区域で希望する全戸に配布できないかの検討を行う。

H29迄の取組状況とH30の取組予定【寒河江市】

H29迄の取組状況（寒河江市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配備を実施（H29）**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒**L2対応で整備済み（H29）**
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練を実施（H29）**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発

H30 寒河江市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災ラジオ配備を検討
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練を予定（9/30）**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施（5/20）**

寒河江市水防工法訓練の取組み

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■この訓練は、水防法第32条の2の規定に基づき、集中豪雨や大雨による水害発生に備え、寒河江市消防団水防隊員の士気の高揚と水防技術の向上及び水防体制の強化を図るとともに、水防に対する地域住民の理解と協力を求めることを目的に実施しました。

1. 開催日時・会場

開催日時 平成30年5月20日(日)午前9時
集合場所 南町公園
訓練箇所 沼川左岸(幸田橋下流約100m)
参加機関 寒河江市、寒河江市消防団、
西村山広域行政事務組合消防本部
(参加消防団員数約250名)
(寒河江地区の自主防災会で見学)

2. 実施内容

参加消防団員全員で土のう作りを行った後、改良積土のう工法2班、防水シート工法1班、水防マット工法1班に分かれ消防本部の指導のもと訓練を行いました。

3. 状況写真



集合整列



土のう作り



改良積土のう工法



市長査察



昭和51年8月6日沼川幸田橋
総雨量219mm



防水シート工法



水防マット工法

H29迄の取組状況とH30の取組予定【上山市】

H29迄の取組状況（上山市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配布(H29)**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒**水害を想定した総合防災訓練を実施**
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒**総合防災訓練を実施。**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進
⇒出前講座による啓発。**訓練レシピ集作成し配布(H29)**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防工法訓練を実施(H29)**

H30 上山市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配布**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒**継続実施(10/28予定)**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発・**防災ファイルを配布**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防工法訓練を実施(5/27)**

1. 実施内容

- 逃がす
 - ・ 防災ラジオの配備（H29～31年度まで）
- 防ぐ
 - ・ 市民向けに一覧性の高い防災情報を提供する『防災ファイル』を作成し全戸配布（H30年6月配布）
 - ・ 自主防災組織向けの「訓練レシピ集」を作成し配布（H29年4月配布）
- 協定
 - ・ 各種協定の締結（H8年度から順次）

2. 実施内容

◆ 防災ラジオ配備（室内での情報伝達に有利な手法を採用）

- ・ 蔵王山の融雪型火山泥流発生への恐れに対応するため、避難区域には福祉施設等が比較的多く配置されていること
- ・ 25、26年大雨で被害が発生したこと
- ・ 配備計画

①融雪型火山泥流避難区域	37台
②浸水想定区域	602台
③土砂災害警戒区域	245台
合計	884台
- ・ 配備対象
福祉施設や学校、病院等（融雪型火山泥流避難区域内）、配備計画区域に居住する世帯のうち希望する世帯及び当該地区の自主防災組織
- ・ 3カ年計画（H29～31年度）

◆ 防災ファイル

〈目的〉

- ・ ハザードマップと避難所、避難場所等
土砂災害、洪水、活断層（目安）
- ・ 防災に関する基礎的な知識の提供（例）
- ・ 地震発生時の時間経過別行動マニュアル
- ・ 避難勧告等の種類と住民の対応
- ・ エフエムによる情報発信の周知
- ・ 洪水の避難判断水位と避難情報発表の基準

◆ 訓練レシピ集

- ・ 避難、情報収集伝達等の16訓練種目を提供
- ・ H29年度 10箇所が活用して訓練

◆ 協定

- ・ 物資供給（7社・団体）
コストコ、市内タイヤ事業者2社、東北カートン、大塚製菓等
- ・ 役務提供（2団体）
市管工事協同組合、市建設クラブ
- ・ 情報
国交省、エフエム山形

他

H29迄の取組状況とH30の取組予定【村山市】

H29迄の取組状況（村山市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災無線の強化改良**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画検討
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施**

H30 村山市の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒L2対応版策定を検討
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(4/15)**

1. 実施内容

■ 防災無線の強化改良

- ・H27にデジタル化し、市内59か所に子局スピーカーを設置し市内全域をカバー
- ・防災無線テレホンサービスを導入
- ・公共施設に個別受信機を設置
- ・Jアラートと連動した自動放送
- ・防災訓練で自主防災会による子局スピーカーを利用した放送訓練(初動対応強化)

2. 実施日時・状況写真

■ 市の防災訓練

- ・日 時 平成30年4月15日(日)
- ・場 所 浮沼地区内
- ・参加者 432名 (浮沼、道六、河島山地区自主防災会、西郷小学校、
県消防防災航空隊、日本赤十字社山形県支部)



水防訓練



倒壊家屋救出訓練



小学生による初期消火訓練

H29迄の取組状況とH30の取組予定【長井市】

H29迄の取組状況（長井市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配備を実施（H29）**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒L1対応で実施
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒**要配慮者利用施設の避難訓練の実施**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施（H29）**

H30 長井市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ屋外拡声器整備事業（H30）**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施（9/30予定）**

長井市 防災ラジオ配布の取組み

■長井市では、東日本大震災を受けて、平成26年にコミュニティFM(おらんだラジオ)が開局しFM放送を活用して様々な防災情報(火災、交通規制、各種災害)を発信しております。緊急性の高い情報は、通常番組より優先的に放送されます。それらの緊急情報を市民の皆様にお伝えするための手段として「長井市防災ラジオ」を市内のご家庭・事業所の希望する方に対して無償で貸与することといたしました。

1. 実施内容

【経過】

H28. 9 必要台数を把握するため、全戸に希望アンケートを実施。

→7,000台分を次年度予算へ盛り込む。

(CFM中継局と併せて整備することで、緊防債の対象)

H29. 4 地区加入世帯へ申込調査を実施。

地区長が自分の地区の申込者を取りまとめ、市へ報告。地区ごとに配送先、配付方法も検討してもらう。

地区未加入世帯については危機管理室で随時受け付け。商工会議所をとおして加盟事業所へ申込みの案内をする。

H29. 7 地区配付分を発送。事業所、地区未加入世帯へは引渡会を実施。

全戸数(事業所含) 9,889世帯
(H30.4月末現在)

無償貸与台数:6,475台

貸与率:65.5%

2 防災ラジオの特徴

【長井市防災ラジオ】

- ・緊急度の高い情報を受信した際には、自動的にラジオの電源が入り、最大音量で放送が流れる機能有。
- ・AM3局、FM3局から選局可能
- ・照明灯付
- ・3件まで録音可能



H29迄の取組状況とH30の取組予定【天童市】

H29迄の取組状況（天童市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒ **防災行政無線・防災ラジオ配備を実施 (H29)**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒ 点検・補充等行う
- リスクが高い箇所及び河川水位等を整備するためのCCTVカメラ及び簡易水位計等の整備
⇒ **樽川に水位警告灯を設置 (H29)**

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒ **L2対応で整備済 (H29)**
- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒ L1対応で実施
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒ 一部施設で検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒ **総合防災訓練を実施 (H29)**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒ 出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒ **水防訓練を実施 (H29)**

H30 天童市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒ **同報系防災行政無線整備**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒ 点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒ 継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒ **総合防災訓練を予定 (10/27)**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒ 出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒ **水防訓練を実施 (5/27)**

実施内容

(1) 情報を繋ぐ

・ 移動系デジタル防災行政無線を整備（平成29年度）

市役所に親局と携帯無線機、各市立公民館に移動局防災無線機を配備

・ 同報系防災行政無線整備（平成30年度～）

市立小中学校に拡声子局（スピーカー）、各自主防災会等に個別受信機を配備予定

(2) 情報の共有

・ 地区自主防災会連絡会にトランシーバーを整備（整備率76%）

各市立公民館に基地局を設置し、各自主防災会に携帯型を配備

(3) 被害を防ぐ

・ 洪水ハザードマップ見直しに伴う住民説明会・避難講習会の開催（3地区開催）

市庁舎設置の親局



公民館設置の移動局



携帯無線機



H29迄の取組状況とH30の取組予定【東根市】

H29迄の取組状況（東根市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災行政無線運用開始（H29）**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒**要配慮者利用施設の避難訓練を実施（H29）**
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒**総合防災訓練を実施（H29）**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発

H30 東根市の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施（10/14予定）**

東根市総合防災訓練

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■ 東根市は、隔年ごと市総合防災訓練を実施する際、合わせて地域特性訓練を行っており、平成28年度は最上川流域の地域特性訓練として、大雨による最上川の水位上昇及び堤防からの漏水を想定し、住民の避難訓練及び水防工法を実施して、地域住民の防災に対する理解と意識の高揚を図ることを目的として実施しました。

1. 開催日時・会場

- (1)開催日時
平成28年10月2日8:00～
- (2)会場
東根市立大富中学校

2. 実施内容

- (1)地震を想定した発災直後からの行動
現地災対本部の設置から救援活動まで
- (2)浸水地域からの住民の避難訓練
徒歩での高台への移動と自衛隊車両による指定避難所への避難
- (3)地元消防団及び中学生による水防工法
(月の輪工法)の実施

3. 状況写真



自衛隊車両による指定避難所への避難



地元消防団及び中学生による水防工法訓練

※今年度は、東根市長瀬小学校を会場に東根市総合防災訓練(10月14日開催)において同様に実施予定です。

H29迄の取組状況とH30の取組予定【南陽市】

H29迄の取組状況（南陽市）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災行政無線整備済、防災ラジオ配布 (H29)
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒L 2対応で整備済 (H29)
- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒L 1対応で実施 (H29)
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒全市民を対象とした避難訓練を実施 (H29)
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施 (H29)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施 (H29)

H30 南陽市の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災ラジオ購入補助事業を検討
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒L 2対応で整備を検討(沖郷地区)
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水害対応総合訓練(避難訓練・水防訓練)を実施(5/20)

南陽市水害対応総合訓練

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■近年の大規模水害発生の現況を考慮し、“命を守る行動”を実践するとともに、水防活動の総合的な訓練を実施し、有事即応体制の確立と水防思想の普及啓蒙を図りました。

1. 開催日時・会場

日時 平成30年5月20日(日)
午前8時～11時45分
会場 南陽市役所、同地域防災拠点広場外
主催 南陽市・置賜広域行政事務組合南陽
消防署・南陽市水防団
参加機関 山形河川国道事務所、南陽警察署、
山形県消防防災航空隊
参加者 約2,400名(避難訓練 約1,500名)

2. 実施内容

- 情報伝達、災害対策本部設置、避難所設置訓練(南陽市)
- ホットライン訓練(山形河川国道事務所)
- 情報伝達、安否確認、避難誘導、一時避難所開設・運営訓練(各地区・自主防災会)
- 水防訓練(消防署、消防団、地元地区・自主防災会)
- 物資輸送訓練(山形県消防防災航空隊)

3. 状況写真



- ※市民一斉避難訓練の実施は、今年で3回目
- ※山形河川国道事務所長と市長が、TV会議によるホットライン訓練を実施(初)
- ※防災ヘリ「もがみ」による物資輸送訓練(初)

H29迄の取組状況とH30の取組予定【山辺町】

H29迄の取組状況（山辺町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災放送・エリアメール等による伝達実施
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備
⇒随時資材補充等行う、**防災拠点施設の整備を実施(H29～)**

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成の検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(H29)**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒**出前講座による啓蒙・自主防災組織による啓発**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施(H29)**

H30 山辺町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う。**防災拠点施設の整備を実施**

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒**L2対応で整備を検討(近江、三河尻地区)**
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(10/7予定)**

山辺町水防拠点施設整備事業 [平成28～31年度]

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■ 須川の河道掘削工事で発生する土砂を有効活用し、国と山辺町が連携して“防災拠点施設”を整備しています。

1. 事業目的

堤防の強靱化を図るとともに、資材備蓄により、洪水時における円滑かつ効率的な水防活動及び応急復旧作業の拠点とします。また、災害発生時、近接する要配慮者利用施設入所者等の急病時救急搬送の拠点として活用します。さらに、平常時には水防団の訓練、ウォーキングや散策、水辺に隣接した憩いの場としての利用が見込まれます。

2. 施設箇所



3. 現況写真



■ 毎年、山辺町総合防災訓練において、水防訓練を実施しています。

1. 開催日時・会場

- ・平成29年10月15日(日)
9時25分～9時40分
- ・山辺町立大寺小学校

2. 実施内容

- ・小鶴沢川(県管理河川)の水位上昇を想定し、山辺町水防団第2分団(30人)が、水防工法 積土のう工訓練を実施。

3. 状況写真



土のう製作器で作業効率アップ



雨衣、救命胴衣を着用して作業する水防団員

H29迄の取組状況とH30の取組予定【中山町】

H29迄の取組状況（中山町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒ エリアメールによる伝達実施
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒ 点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒ 要配慮者利用施設の避難計画作成の推進検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒ **総合防災訓練を実施 (H29)**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒ **水防訓練を実施 (H29)**

H30 中山町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒ 点検・補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒ **L2対応版策定を検討**
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒ 要配慮者利用施設の避難計画作成検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒ **総合防災訓練を予定 (10/28)**

中山町防災訓練(大雨による災害想定)

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■ 村山地区を中心に局地的な大雨が降り続いたことによる災害発生を想定。山沿いを中心に河川の増水、主要道路の冠水、山間の農道の崩落が発生。また、落雷による電気通信施設に被害が発生し、河川汚濁により水道が断水になった状況での訓練を実施。

1. 開催日時・会場

平成29年10月29日(日)
午前8時40分～11時30分
岡地区(172世帯 590人)

2. 実施内容

○訓練主体

岡地区自主防災会 消防団
(地区住民101人参加)

○主な訓練内容

情報収集・安否確認・避難誘導
初期消火・応急手当
炊き出し・給水車による給水
土のう積み

3. 状況写真



H29迄の取組状況とH30の取組予定【河北町】

H29迄の取組状況（河北町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災行政無線整備済
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒L2対応で整備(吉野・舞台・荒小屋地区)(H29)
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成の推進検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を実施(H29)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進
⇒出前講座による啓発、自主防災組織による啓発、浸水想定区域の見直しの周知(H29)
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施(H29)

H30 河北町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を予定(10/28)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施(8/26予定)

1. 実施内容

■ 逃がす

- ・洪水浸水想定区域の見直しに伴い、避難所までの経路を再確認した。

■ 防ぐ

- ・想定最大規模降雨に対応した、まるごとまちごとハザードマップを作成した。
- ・大型台風の局地的な大雨被害を想定し、関係機関と合同で河北町水防訓練を実施した。

■ 取り戻す

- ・水防資材の備蓄資材を補充した。

2. 実施日時・状況写真

洪水浸水区域説明会

開催日時：平成29年12月12日

会場：河北町吉野公民館

参加人数：約20名

参加機関：町、自主防災会、
山形河川国道事務所

開催内容：浸水想定区域
表示板の見直し



地域住民に対して、洪水浸水想定区域、浸水継続期間、家屋倒壊等氾濫区域についての説明

H29迄の取組状況とH30の取組予定【西川町】

H29迄の取組状況（西川町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災行政無線運用開始（H29）**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練に水防を想定し実施（H29）**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒**出前講座による啓発、自主防災組織による啓発（H29）**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施（H29）**

H30 西川町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を予定（10/1）
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進
⇒出前講座による啓発。**訓練・防災講習会、資格取得への補助**

西川町 自主防災組織充実強化支援事業

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■災害による被害の防止及び減災のため、町内各地区(全12地区)の自主防災組織が防災訓練を実施する場合、補助金を交付しています。

1. 交付対象となる取り組み

- ①初期消火訓練、炊き出し訓練、避難誘導訓練等の各種訓練経費
⇒材料費、燃料費、パンフレット作製費等
- ②講師を呼んでの防災講演会、研修会等への経費
⇒講師謝礼、研修にかかわる交通費等
- ③防災士資格取得に関する経費
⇒研修講座受講料、試験受験料等

2. 活用実績

・H28年から事業開始

◎H28・・・3件(吉川地区、海味地区、沼山・原地区)

⇒避難誘導訓練、炊き出し訓練、物品購入、防災士講習費等

◎H29・・・3件(綱取地区、海味地区、吉川地区)

⇒安否確認訓練、防災講演会、防災士講習費

2年続けて活用している地区もあり、町民の防災意識の向上に役立ててもらっている。いつ起きるかわからない災害に備えるため、まだ実施していない地区にも呼びかけを行い、活用して貰いたい。

3. 状況写真

H29.9.24

綱取地区防災訓練



H29迄の取組状況とH30の取組予定【朝日町】

H29迄の取組状況（朝日町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災行政無線整備済
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒L 2 対応版策定配布済み (H29)
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成 (1箇所作成) (H29)
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を実施 (H29)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施 (H29)

H30 朝日町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒避難訓練の実施を計画
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を予定 (9/30)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発

朝日町の減災に係る取組み

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

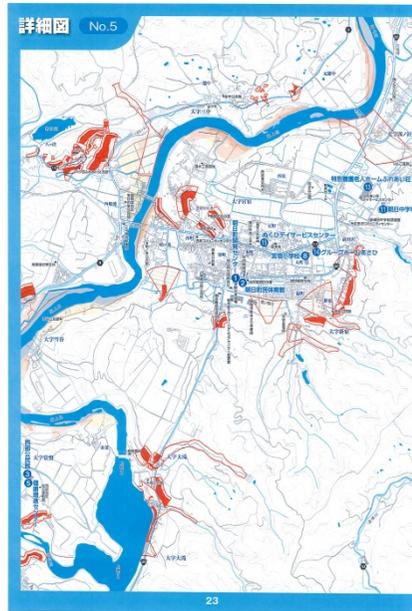
1. 実施内容

- 防災マップを作成し、全戸に配布しました。
- 水防法第32条の2の規定に基づき、水防の警戒、防御及びこれによる被害を凶ることを目的として水防訓練を実施しました。

2. 実施日時・状況写真

作成：平成29年10月
内容：洪水ハザードマップ(L2)及び土砂災害警戒区域を記載した防災マップを作成し、全戸配布しました。

実施月日：平成29年10月1日(日)
参加人数：30人
訓練内容：水防団及び自主防災会による積み土のう工法、ロープ結索訓練を実施。



H29迄の取組状況とH30の取組予定【大江町】

H29迄の取組状況（大江町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災行政無線整備済
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒L2対応で整備(百目木地区)(H29)
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成の推進検討
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(H29)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進
⇒出前講座による啓発、浸水想定区域の見直しの周知(H29)
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施(H29)

H30 大江町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒継続実施
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(10/14)

大江町百目木地区における減災に係る取組み

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

1. 実施内容

「逃げ遅れゼロ」に向けて・・・

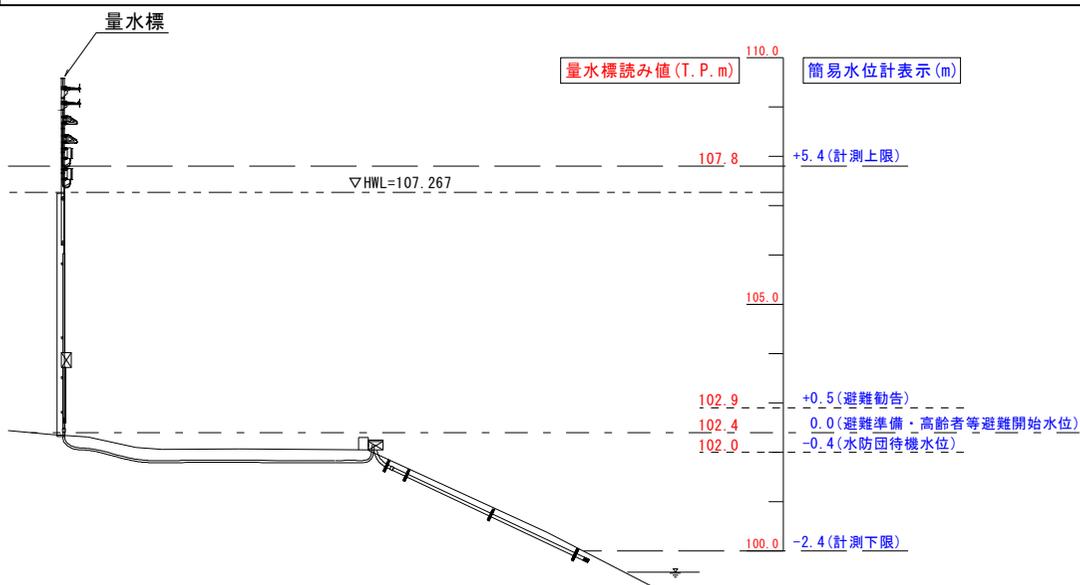
- ・洪水浸水想定区域図(想定最大規模)の説明会及び出前講座を開催しました。
- ・まるごとまちごとハザードマップに想定最大規模の浸水深表示板を追加しました。
- ・より現地に即した洪水時の避難指標を、地域住民とともに設定しました。

2. 開催日・会場等

開催日:平成29年12月10日 会場:百目木地区内
参加者:30人(地域住民、山形河川国道事務所、町)

3. 資料、状況写真等

洪水時の避難指標の設定:避難基準と水位の関係



まるごとまちごとハザードマップ
浸水深表示板により、想定最大規模を実感



現地において、避難基準と水位の関係を確認



大江町水防訓練

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■大江町総合防災訓練において、集中豪雨や大雨が増加する時期に備え、洪水への対応能力の向上を目的に水防訓練を実施しました。

1. 開催日・会場等

開催日：平成29年10月1日(日)

会場：県立楯岡特別支援学校
大江校グラウンド

主催：町、町消防団

参加者：地域住民、消防団員 ほか
256人(うち水防訓練30人)

2. 実施内容

- ・水防手法のひとつとして、「土のう作り」と「積み土のう工法」の訓練を、消防署大江分署員の指導のもと、地域住民と消防団員が行いました。
- ・住民と消防団員が連携して訓練を行い、洪水への対応を互いに学びあい認識を深めることができたことは、地域防災力の向上に繋がるものになりました。

3. 状況写真



H29迄の取組状況とH30の取組予定【高島町】

H29迄の取組状況（高島町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災行政無線整備済**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う
- リスクが高い箇所及び河川水位等を整備するためのCCTVカメラ及び簡易水位計等の整備
⇒**和田川に水位警告灯を設置(H29)、危機管理型水位計実証試験の実施(H29)**

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒**要配慮者利用施設の避難計画作成の推進検討（防災福祉マップの作成）(H29)**
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(H29)**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発。**防災セミナーを実施**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**水防訓練を実施(H29)**

H30 高島町の取組予定

■ハード対策

- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒継続実施
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒**年内避難計画策定予定**
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練にて実施**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(9/30)**

1. 実施内容

■「自助・互助・共助」の推進

- ・住民の地域防災力の向上を目的として出水期前に防災セミナーを開催、自主防災組織メンバーのレベルアップを図りました。
- ・防災出前講座実施や防災福祉マップの作成を推進し、集落ぐるみの防災力の向上を図りました。

■「知らせる」

- ・町防災マップを作成し、浸水想定区域や避難所の所在、防災に関する情報伝達体制を周知しました。
- ・防災行政無線屋外拡声子局を町内全域に設置し、戸別受信機を公共施設や福祉施設に設置しました。

■「避難する」

- ・町外の事業所と緊急避難場所に関する協定を締結、市町村域を超えた広域避難の体制を構築しました。

2. 実施日時・状況写真



【防災セミナーでのグループワーク】
日時：H29.6.4 会場：高島中学校
対象者：町内自主防災組織メンバー
200名



【自主防災組織による防災福祉マップ作り】
自主防災組織メンバーが集落内を点検し、危険箇所
や避難所・避難経路等を掲載したマップを作成



【防災行政無線の整備】
屋外拡声子局76箇所設置
戸別受信機を避難所、福
祉施設、音声難聴世帯へ
設置



【事業所との避難所協定】
広域避難を想定し、町外
事業所と避難所としての
施設使用に係る協定を締
結（H28.3.11 山形県農業
共済組合置賜支所）

高畠町水防訓練

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

高畠町水防訓練は、水防法第32条の2の規定に基づき、集中豪雨や大雨が増加する時期に備え、水防技術の習得による被害の軽減を図ることを目的として実施しています。

1. 開催日時・会場

日時：平成29年6月25日(日)

会場：最上川河川敷糠野目緑地

参加機関：高畠町水防団、高畠町、置賜広
域行政事務組合高畠消防署

参加人数：高畠町水防団 141名

2. 実施内容

実施目的：水害シーズンを前に、水防団員の水防技術の習得と、管内水防体制の強化を目的として毎年実施しています。

平成29年度は水防工法その他、災害による傷病者の発生を想定し、水防団員による傷病者の搬送訓練を実施しました。

3. 状況写真



積み土のう工法



せき板工法



傷病者搬送訓練

H29迄の取組状況とH30の取組予定【川西町】

H29迄の取組状況（川西町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災行政無線整備済
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等を行う

■ソフト対策

- まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⇒L1対応で実施
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成の推進
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練
⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(H29)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施(H29)

H30 川西町の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災無線を随時活用
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等を行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を実施(8/26予定)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒継続実施
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒水防訓練を実施(6/24)

川西町 水防訓練

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

■この訓練は、水防法第32条の2の規定に基づき、集中豪雨や大雨が増加する時期に備え、水防の警戒、防御及びこれによる被害を凶ることを目的として実施しました。

1. 開催日時・会場

開催日時:平成29年6月25日(日)
午前9時00分～

会 場:川西町大字上小松二井町地内
犬川河川公園側

来賓者

国土交通省東北整備局山形河川国道事務所南陽出張所長、
山形県議会議員、置賜総合支庁長、白川土地改良区理事長、
米沢平野土地改良区理事長、米沢警察署長、川西駐在署長、
置賜広域行政事務組合消防本部消防長、川西町議会議員、
川西町議会議員

3. 状況写真

シート張り工法



積土のう工法



2. 実施内容

訓練項目

- ①基本水防工法(9時15分～10時35分)
 - ア)土のうこしらえ工法
 - イ)月の輪工法・基本ロープ結索
 - ウ)シート張り工法・基本ロープ結索
 - エ)積土のう工法・基本ロープ結索

- ②実践水防工法訓練(10時45分～11時25分)
 - ア)シート張り工法
 - イ)月の輪工法
 - ウ)積土のう工法

H29迄の取組状況とH30の取組予定【小国町】

H29迄の取組状況（小国町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災ラジオ配布。防災行政通信システムの運用開始(H29)**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒**随時資材補充等行う**

■ソフト対策

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**総合防災訓練を実施**
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒**防災シンポジウムの開催(H29)**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**荒川総合水防演習に参加(H29)**

H30 小国町の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒**防災行政無線を随時活用**
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒**点検・補充等行う**

■ソフト対策

- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒**継続実施**
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒**総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(10/7予定)**

1. 実施内容

- 荒川総合水防演習への参加
 - ・平成29年5月27日、国土交通省北陸地方整備局主催の「荒川総合水防演習」へ参加し、関係機関と連携した水防訓練を実施。
- 防災行政通信システムの運用
 - ・屋外スピーカーおよび防災ラジオ(全戸配布)により、情報伝達手段を確保。
- 防災シンポジウムの開催
 - ・平成29年10月1日、羽越水害50周年記念事業として「小国町防災シンポジウム」を開催。

2. 状況写真



荒川総合水防演習



防災ラジオ



防災シンポジウム

H29迄の取組状況とH30の取組予定【白鷹町】

H29迄の取組状況（白鷹町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒情報伝達方法の拡充検討(H29)
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒L2対応版策定配布済み(H29)
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒要配慮者利用施設の避難計画作成の推進検討(H29)
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を実施(H29)
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒出前講座による啓発(H29)
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(H29)

H30 白鷹町の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
⇒新規登録制メールの運用開始（屋外スピーカー難聴対策）
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- 広域避難計画及び広域避難を考慮したハザードマップの策定周知 ⇒広域避難のあり方等の検討
- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒小学5年生を対象にした出前講座による啓発
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施(10/14予定)

- 国における浸水想定区域の見直し(平成29年1月公表)を受け、最上川流域の想定最大規模降雨による「洪水浸水想定区域」「浸水継続時間」「家屋倒壊等氾濫想定区域」と、町で指定する避難所や洪水災害に役立つ情報等を示した地図を作成・配布するとともに、地元主催の防災講座開催を支援。

1.ハザードマップの作成と配布

- 作成期間:平成29年7月21日～平成29年12月20日
- 配布日:平成29年12月21日
- 配布先:町内全戸・公共施設・町内企業・消防団ほか
- 特に留意した点
 - ① 災害に備える意識を醸成するため、自宅から避難所までのルートを自ら書き込むよう促し、家族で情報を共有する機会を創出した。
 - ② 町で原案作成後、山形河川国道事務所から先進事例や改善点等についてご指導いただき完成に至った。

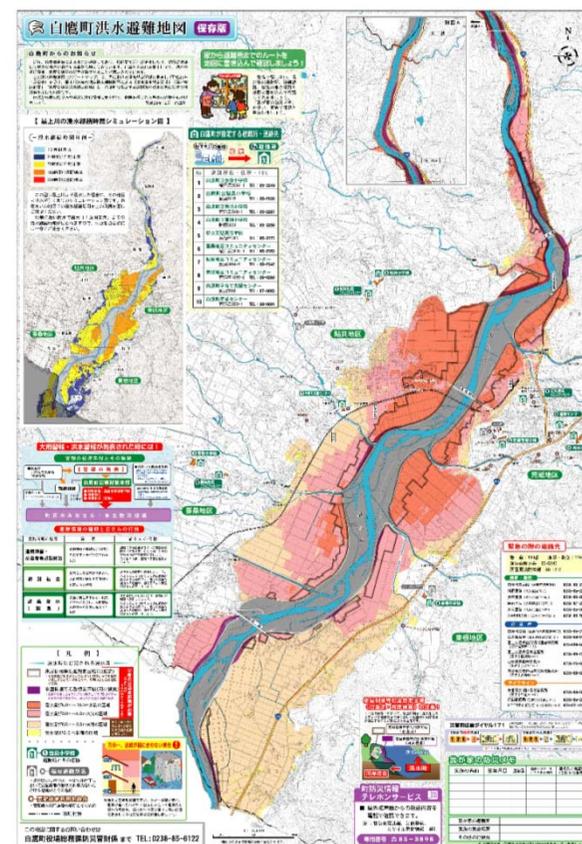
2. 防災講座開催概要(ハザードマップ更新後)

- 期日:平成30年3月11日(日)
- 会場:白鷹町東根地区コミセン ※70名参加
- 主催:東陽の里づくり協議会
- 講座名:「防災講座 ハザードマップの正しい見方使い方を知る」
～災害から生命と財産を守るために～
- 講師:山形河川国道事務所 調査第一課 課長 様

<参考>最上川の洪水浸水想定区域等の見直しに関する説明会開催の支援(ハザードマップ更新前) ※2会場とも主催は地元自主防災組織

- ① 平成29年7月12日(会場:荒砥地区コミセン)講師:山形河川国道事務所 調査第一課 課長 様
- ② 平成29年8月 4日(会場:蚕桑地区コミセン)講師:山形河川国道事務所 調査第一課 専門職 様

3.白鷹町洪水避難地図



A1サイズ
カラー片面印刷
A4折仕上げ

H29迄の取組状況とH30の取組予定【飯豊町】

H29迄の取組状況（飯豊町）

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布
⇒コミュニティFMラジオ放送中継局・緊急割り込み放送設備を整備（H29）
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒随時資材補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成
⇒樺地区公共施設防災対策協議会主導にて避難訓練を実施（H29）
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒総合防災訓練を実施（H29）
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒自主防災組織連絡調整会議や県出前講座で実施（H29）
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施（H29）

H30 飯豊町の取組予定

■ハード対策

- 防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布 ⇒防災ラジオを全戸配布予定
- 水防活動を支援するための水防資材等の配備 ⇒点検・補充等行う

■ソフト対策

- より実践的な避難訓練の実施及び要配慮者利用施設の避難計画の作成 ⇒継続実施
- タイムラインの策定・検証、首長等も参加した実践的な訓練 ⇒継続実施
- 水災害の防災知識の普及、防災教育の推進 ⇒継続実施
- 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 ⇒総合防災訓練に水防訓練を含めて実施（10/14予定）

飯豊町 公共施設防災対策協議会の活動紹介

最上川上流減災対策協議会
～羽越水害から半世紀～

飯豊町椿地区公共施設防災対策協議会とは

■平成14年度より、災害時に各施設の応援体制を確立していきながら防災意識の高揚を図っていくことを主なねらいとして各施設の職員・地区の自主防災会や利用者の方を巻き込んだ活動を行っています。

実施内容

飯豊町椿地区には、飯豊町健康福祉課、国民健康保険診療所、介護老人保健施設「美の里」、町民総合センター「あ～す」、つばき保育園、こどもみらい館、社会福祉協議会、特別養護老人ホーム「ひめさゆり荘」、福祉事業所「でんでん」など、子どもや高齢者など要配慮者利用施設が多くあります。各施設の職員はもとより、地区の自主防災会や利用者の方を巻き込んだ防災訓練を行っております。

訓練内容

- 防災訓練の実施に当たっては、各施設の代表者会議で訓練計画を策定。
- 西置賜行政組合消防本部消防署および消防署飯豊分署の指導の下、訓練を実施。
- 福祉施設の利用者が、避難する際に転倒して救急搬送されるという本番さながらのアクシデントを想定、防災訓練を重ねています。

設立当初

各施設の火災を想定しての避難訓練

現在

水害をも想定した防災訓練を行い、飯豊町総合防災訓練の2次会場として合同訓練を実施するレベルにまで上がってきました。

消防署・地区会の協力で訓練の質を磨き上げています。



平成30年度の各構成機関の減災に向けた主な取り組み予定

○平成28年9月策定の『最上川上流域の減災対策に係る取り組み方針』のうち主にソフト対策の主な取り組みから市町で継続的に行える、防災教育・適切な避難行動のための取り組み予定です。

	平成30年度の各機関の減災に係る主な取り組み予定				
	水防訓練	総合防災訓練 (水防含み)	総合防災訓練	L2ハザードマップ作成予定	まるごと・まちごと ハザードマップ実施予定
山形市	6月24日			H30～31年度 【須川・馬見ヶ崎川・村山高瀬川・立谷川】	予定無し
米沢市			10月7日	予定無し	予定無し
寒河江市	5月20日		9月30日	済み	予定無し
上山市	5月27日		10月28日	予定無し	予定無し
村山市		4月15日		H31.3	予定無し
長井市		9月30日		予定無し(H31予定)	予定無し
天童市	5月27日		10月21日	済み	予定無し
東根市		10月14日		H31年6月頃予定 【村山野川、白水川、日塔川】	予定無し
南陽市	5月20日			済み	H30年度予定【沖郷地区(宮崎、露橋)】
山辺町		10月7日		予定無し(H31予定)	H30年7月以降【近江地区・三河尻地区】
中山町			10月28日	H30	予定無し
河北町	8月26日		10月28日	予定無し	予定無し
西川町			10月1日	予定無し	予定無し
朝日町			9月30日	済み	予定無し
大江町		10月14日		予定無し	予定無し
高畠町			9月30日	H31以降【屋代川・砂川公開後】	予定無し
川西町	6月24日		8月26日	予定無し	予定無し
小国町			10月7日	予定無し	予定無し
白鷹町		10月14日		済み	予定無し
飯豊町		10月14日		予定無し	予定無し

※取り組み予定は、6月末現在の情報を元に整理しています。

効果的な水防訓練の実施

■ 「水害対応総合訓練」を行っています。

- 近年の大規模な水害を考慮し、水害発生の有事に備えるため水防活動を総合的に訓練し、各機関の志気高揚と技術向上・体制強化を図る目的で行っています。
- 各市町毎に命を守る行動を実践するため住民避難を含めるなど独自取組みを考えて訓練を行っています。

訓練の様子



ホットライン訓練状況(山形河国・南陽市)



住民による避難訓練状況(南陽市)



小学生による初期消火訓練(村山市)



要配慮者参加による避難訓練(飯豊町)



自主防災会によるロープ結索訓練(朝日町)



中学生による水防工法訓練(東根市)

洪水ハザードマップ

最上川においては、平成22年度で水防法第15条により洪水ハザードマップの作成・公表が義務付けられている全市町の公表が完了。

平成28年度に、洪水浸水想定区域図の見直し(想定する雨量等の見直し)があり、各市町ではマップの改訂を行っています。平成30年度も引き続き、各市町への技術的支援を行います。

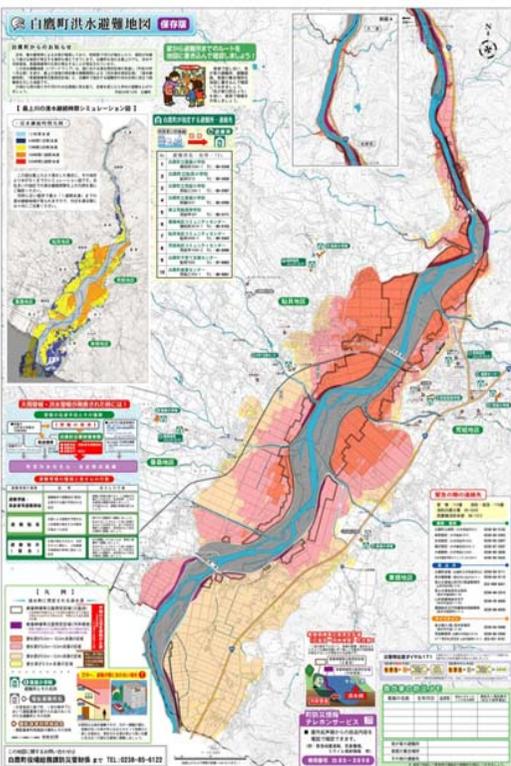
【参考】国土交通省ハザードマップポータルサイト <https://disaportal.gsi.go.jp/>

■洪水ハザードマップ配布状況⇒ 3市2町で想定最大規模対応へ見直し

H28 南陽市

H29 寒河江市、天童市、朝日町、白鷹町

【河北町・大江町では浸水想定区域変更の地元説明会を実施】



ハザードマップのポイント

- ①住民目線で作成。
- ②想定最大規模の水害に対する避難計画をハザードマップに反映する。
- ③住民が避難計画を検討できるように避難場所・避難経路等が判別できる縮尺とする。
- ④浸水想定区域・浸水深・浸水継続時間・早期の立退き避難が必要な区域を記載。
- ⑤避難勧告等の情報伝達方法や自らの判断による避難行動を促す記載。

洪水ハザードマップ作成一覧

	L1ハザードマップ 作成年	L2ハザードマップ 作成年
山形市	H16. 3	—
米沢市	H17. 8	—
寒河江市	H25. 3	H29. 3
上山市	H19. 3	—
村山市	H23. 3	—
長井市	H21. 3	—
天童市	H18. 8	H29. 6
東根市	H17. 3	—
南陽市	H20. 4	H29. 4
山辺町	H27. 3	—
中山町	H24. 3	—
河北町	H15. 1	—
西川町	H24. 8	—
朝日町	H25. 10	H29. 10
大江町	H28. 3	—
高畠町	H23. 3	—
川西町	H22. 3	—
小国町	H28. 3	—
白鷹町	H20. 3	H29. 12
飯豊町	H16. 3	—

逃がす

ハザードマップの策定 及び まるごと・まちごとハザードマップの見直し

まるごと・まちごとハザードマップ

■ 想定最大規模対応への見直し

洪水浸水想定区域図の見直しに伴い、ハザードマップの策定及びまるごとまちごとハザードマップの見直しを支援。

- ・想定最大外力に基づいた洪水を対象に広域避難計画も反映した洪水ハザードマップを策定する。
- ・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を見直す。
- ・指定避難所までの避難ルートを示した避難マップ等作成の支援。

■ これまでにL1想定にて7市町23地区で実施

⇒ 2町4地区でL2想定最大規模対応へ見直し

河北町(吉野, 舞台, 荒子屋) ⇒ H29 想定最大規模L2へ見直し

大江町(百目木) ⇒ H29 想定最大規模L2へ見直し



平成29年12月12日
河北町吉野公民館にて説明会を実施



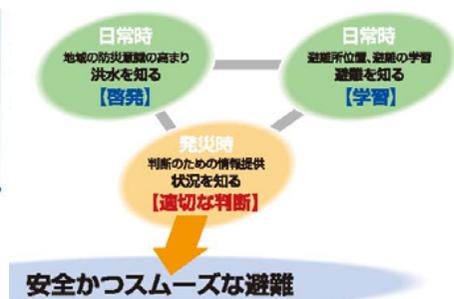
避難指標となる基準水位を
現地で説明

「洪水ハザードマップ」をご存知ですか？

「洪水ハザードマップ」は、河川のはん濫を想定して
みんなが迅速、的確に避難を行うための情報が載っています。

市町村で作成・配布しています。

まさにまさに **ハザードマップ** は、
実際に「洪水ハザードマップ」の情報を、まちなかに標示するものです。



まるごと・まちごとハザードマップ作成一覧

市町村	L1ハザードマップ対応	L2ハザードマップ対応
山形市		
米沢市		
寒河江市		
上山市		
村山市		
長井市	H18館町南	
天童市	H18寺津	
東根市		
南陽市	H21梨郷・砂塚・竹原 H29柵塚・長岡	
山辺町		
中山町	H19桜町・梅ヶ枝町・いずみ・あおぼ	
河北町	H20吉野・舞台・荒小屋 H21押切・田井・山王	H29吉野・舞台・荒小屋
西川町		
朝日町		
大江町	H25百目木	H29百目木
高畠町		
川西町	H21門の目・東他屋・中の他屋 H22高山	
小国町		
白鷹町		
飯豊町		

「最上川堤防の重要水防箇所の合同点検」を実施！！ ～ 水害の未然防止と被害軽減に向けた取り組み ～

平成30年6月12日
山形河川国道事務所

防 ぐ

1. 経緯／概要

- 最上川上流洪水予報・水防連絡会（会長：山形河川国道事務所長）は、洪水時に迅速かつ的確な水防活動の実施を図り災害を未然に防ぐことを目的に、重要水防箇所の合同巡視を実施しました。
- 実施日
 - 【寒河江出張所管内】
実施日：平成30年6月5日（火）・6日（水）
 - 【長井出張所管内】
実施日：平成30年6月8日（金）
 - 【南湯出張所管内】
実施日：平成30年5月25日（金）
- 参加機関
山形河川国道事務所、最上川ダム統管理事務所、山形地方气象台、山形県、市町、消防署、警察署、水防団、住民代表

2. 点検の様子

- 洪水時に堤防などの監視や水防活動を行う際、特に注意が必要な重要水防箇所の現状を把握し、災害を未然に防ぐため、市町の関係者や消防団などと合同で巡視を行い、いざというときに迅速に対応できるよう再確認しました。今年度は県管理区間についても合同で巡視を行いました。



【河川】「内水排除訓練」を実施しました！

平成30年5月24日
山形河川国道事務所

取り戻す

～出水に備えてポンプの設置やホースの接続方法等を確認～

1. 経緯／概要

○洪水時に河川が増水すると、水門や樋門・樋管のゲートを閉じて洪水に備えますが、堤内(宅地・田畑等)側では、水路等からの排水が出来ないため水に浸る場合があります。

この時に排水ポンプ車が出動して、浸水を軽減させることができます。

山形河川国道事務所では、寒河江出張所及び南陽出張所管内に排水ポンプ車をそれぞれ2台の計4台を配備しています。また、夜間の排水対策として照明車をそれぞれ1台の計2台を配備し、河川が増水に備えています。

○実施日・箇所

寒河江出張所管内

平成30年4月 3日(火) 河北町谷地地内【榎川水門】 排水ポンプ車(30^m高揚程) 排水ポンプ車(60^m) 照明車(屈折式)

南陽出張所管内

平成30年5月17日(木) 川西町東大塚地内 【鬼神川排水樋門】 排水ポンプ車(60^m)

平成30年5月24日(木) 高畠町糠野目地内 【糠野目排水樋管】 排水ポンプ車(30^m)

2. 訓練の状況

○寒河江出張所管内



【排水ポンプ車】



【照明車】

○南陽出張所管内



【ポンプの設置】

【排水作業中】

■洪水浸水想定区域図は、平成27年7月の水防法改正を受け、想定最大規模の降雨を対象とした内容に順次更新を行っている。

1. 公表日時

平成30年4月27日 公表河川
須川、馬見ヶ崎川、村山高瀬川、
前川、大旦川

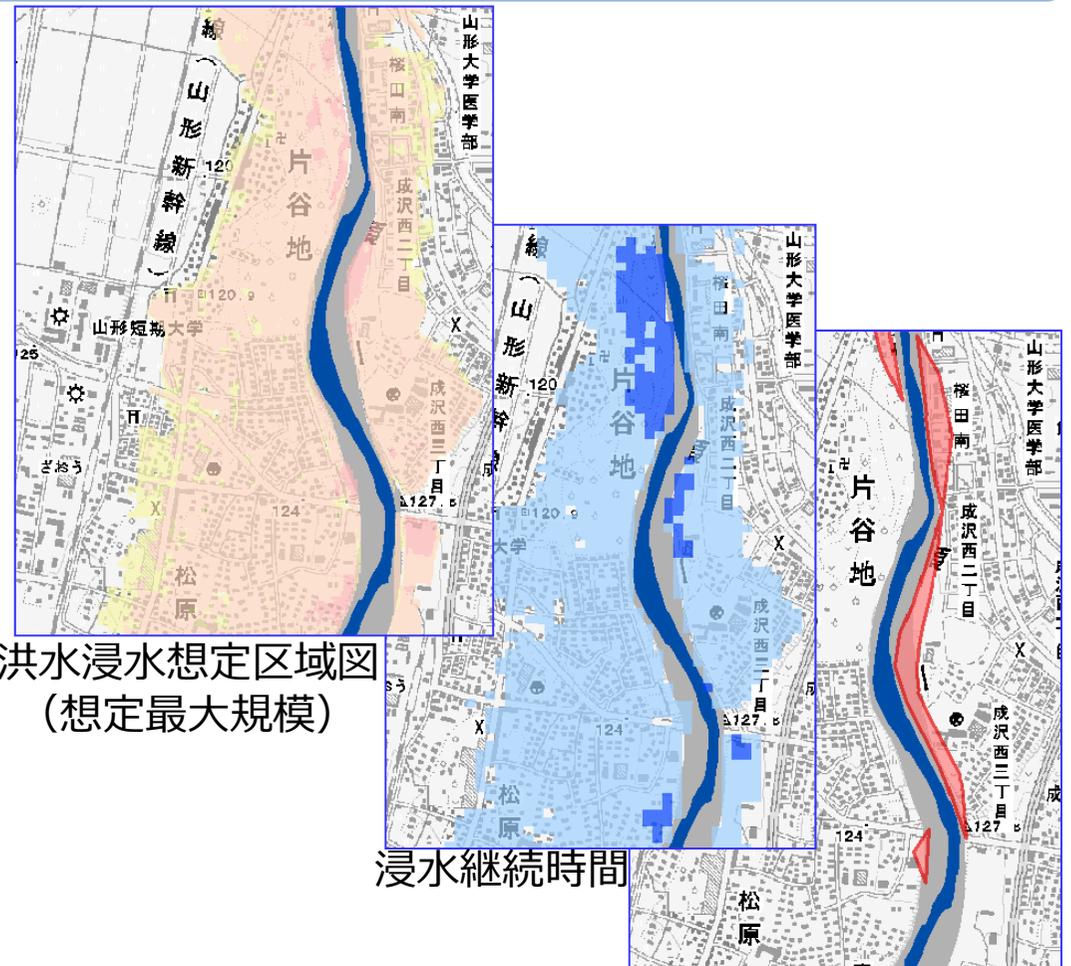
※既公表済河川：羽黒川、置賜白川

公表資料：洪水浸水想定区域図（想定最大規模、計画規模）、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域

2. 実施内容

- ・公表に先立ち、各総合支庁建設部長等から各市町の首長に対し、洪水浸水想定区域図の概要について事前説明を実施
- ・併せて、ハザードマップの作成推進を依頼

3. 公表資料



洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)

浸水継続時間

家屋倒壊等氾濫想定区域

■ 要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るために、平成29年6月に水防法が改正され避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務化されました。この推進を図るために、県内4ブロックで市町村担当者を対象とした説明会を開催しました。

1. 開催日時

平成30年2月21日 10:00～11:30
対象：村山総合支庁管内市町村
平成30年2月23日 10:00～11:30
対象：置賜総合支庁管内市町村

2. 説明会の内容

説明概要

- ・ 減災対策協議会の概要
 - ・ 「水防法」「土砂災害防止法」の改正概要
 - ・ 避難確保計画の概要
 - ・ 避難確保計画の作成状況 など
- 意見交換
- ・ 課題等について、各担当から意見聴取を実施

3. 説明会の状況



村山管内の開催状況



置賜管内の開催状況